

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2019年5月号(年3回発行) 第150号

センターのメンバーが東京オリンピックのボランティアで活躍します!

2020年に開催される東京オリンピックに、センターのメンバー3人が語学を活かしたボランティアとして認定され、現在研修を受けています。来年のオリンピックに向けて、それぞれのみなさんの担当地域や抱負などについて聞いてみました。

● 茂木久美子(英語通訳)



担当地域:

陸上自衛隊朝霞訓練場、射撃

応募理由:

オリンピックという大きなイベントが近隣で開かれるので、英語ボランティアとして参加して、楽しみながら、お役に立てればと思います。

抱負:

富士見市は、オリンピック開催中、セルビア共和国のホストタウンになりましたが、私は幼児期にこの国にいた経験があります。またセルビア共和国と富士見市長とのお手紙の翻訳をFICECを通して依頼されたことで、ホストタウンの実現に多少のお手伝いできたことも、また深いご縁を感じます。

● 山口満江(英語通訳 /ボランティアリーダー)



担当地域:

陸上自衛隊朝霞訓練場(射撃会場)及び周辺エリア

応募理由:

日本でのオリンピックは私にとって2度目で、参加できるのは最後のチャンス。世界最大のイベントの雰囲気を感じたい。

抱負:

海外旅行中に会った親切な人たちとの出会いを通して、日本に来た外国人の役に立ちたいと思いました。研修は1年前から始まっており、普段から困っている外国人がいたら、怪しまれないように、充分に配慮した上で声をかけてお手伝いをしています。

● 小山順子(韓国語通訳)



担当地域:

①霞ヶ関カンツリークラブ(ゴルフ会場)周辺エリア・川越市、狭山市
②陸上自衛隊朝霞訓練場(射撃会場)周辺エリア・朝霞市、和光市、新座市

応募理由:

娘の紹介で挑戦しました。自分も人生に一度、オリンピック、パラリンピックのボランティアに参加し、沢山の観光客と韓国語で話をしたかったからです。

抱負:

韓国語ボランティアといっても日本語でのコミュニケーションも多いと思うので、自分が困らないように日本語の勉強も頑張りたいです。

外国人向け富士見市防災ガイドができました

防災ガイドは「富士見市防災ガイドブック」を元に、外国人向けの「富士見市地域防災計画ガイド」として作成しました。

近年、行政との協働では、多言語の翻訳が増えています。日本語がわからないことで情報が得られず、災害弱者にならないように考えて作りました。

まず、外国人スタッフも交えた会議で、必要な情報を選びました。

「災害の前に準備すること」「備蓄品」「非常持ち出し品」「地震や水害の時にどのような行動をしたらいいのか」「避難所での生活について」「避難所マップ」などの情報から、「やさしい日本語版」を作りました。その後、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語の翻訳を行い、全部で6ヶ国語の翻訳版が完成しました。

多くの外国の人の手に届き、利用して貰えたらと

思います。

富士見市役所、富士見市の公共施設、ふじみの国際交流センターに置いてあります。どうぞご利用ください。(矢澤美紀)



国際子どもクラブの一年

昨年度の子どもクラブは、多くの小学生が元気に通って来てくれました。

来日間もない子どもが少なかったためか、さっさとそれぞれの課題を済ませると、思い思いの仲間の輪を作り、遊びを楽しんでいました。こんな時に積極的に相手をしてくれるのが、学生さんや若いボランティアさんです。少しずつ学校や国を超えた仲間で遊べるようになってきました。遊び回れる広いスペースが欲しいなあと思います。

昨年夏の夏までは、4名の高校受験生がいました。それが一人抜け二人抜けて、今年1月には、とうとう一

人もいなくなりました。進学をあきらめた子、いつの間にか来なくなってしまった子、そして塾に通うことにした子と、理由は様々です。子どもの生活環境も変わってきています。塾やおけいこに通う子どもが増えていく一方で、中学を卒業したら、すぐ働き始める子どもも増えています。いずれの道を選ぶにしても、若者の居場所が必要な事には変わりはありません。そこに行けば同世代の友達に会え、遊んだり悩みを聞いてもらえたり、情報交換できたりする、そんな居心地の良い場所作りが今後の大きな課題になるのかなと感じています。(山畑 博子)



困難は 笑顔で乗り越えろ

チア ジョージ

13歳の時にフィリピンから来日した。友達と話したくても、言葉の壁があるため中々踏み出せない、何を話せばいいのかわからない。英語を使ったり、身振り手振りで、辞書で調べたりして友達と話していた。その内友達ができ、部活動にも入れた。新しい環境に溶け込めたのは、笑顔を絶やさなかったからだと思う。笑顔は同じ言語を喋らなくても、それを通して友情や明るく温かい雰囲気を育むと感じた。だから自分はどんなに苦しくても、笑顔だけは絶対に忘れないと決めた。

学校生活に慣れても言葉の壁はまだあった。中学校の成績があまりにも酷かった事にショックを受けた。負けず嫌いの私は、成績が悪いのが嫌だったため、もっと勉強したいと思った。その時母がFICECの「国際子どもクラブ」へ連れて行ってくれた。毎週土曜日FICECに通うことにした。雨や雪の日でも絶対にFICECに通い、夏休みもほぼ毎日通い日本語の勉強をした。その後もFICECでの勉強を続け、成績が上がり日本語も流暢に喋れるようになった。

高校受験の時は、国際子どもクラブの先生達に、試験勉強や面接練習、進学先の相談や学校説明会の同行支援をしてもらった。母の負担を減らすため、国立単願で受験した。受験校は倍率が高く、プレッシャーがあったが、笑顔を保ち自分の目標に向かい頑張った。支えてくれたみんなのおかげで志望校に合格した。努力は必ず報われると感じた。笑顔はとても強いと思う。前向きになるし、周りの人にも伝わり全体的が良い雰囲気になる。

高校でも毎日笑顔で過ごし、良い友達や先生達に恵まれた。色々なことに積極的に取り組み、生徒会や模擬国連等で学校の代表にも選ばれた。国際関係の学科に入り社会問題についての関心が高まった。一番興味深かったのは、発展途上国に起きている教育を受ける権利への格差だ。とても深刻な問題だと感じる。公平に教育を受けられる機会があれば、今世界が抱えているゴミ問題や地球温暖化等の問題は、少しずつ良くなると思う。問題の現状を国民が理解せずに、無理矢理改革を行おうとしても無理だと思う。多くの人達が環境問題について無関心では、現状は変わらない。小さい時から教え、出来ることを考えさ



せる教育は大切だと思う。

この格差は日本でも起きている事に驚いた。特に外国ルーツの生徒は日本の生徒よりも進学率が低く、いじめに会う確率も高い。私はこの問題を研究したいと思い、教育格差をなくすのに必要な知識や技術を大学で身につけたいと考えた。そのため、国際関係を英語で学べる大学を目指した。

母の負担軽減のため、国公立の学校しか受けない。高校の先生からは無理かもしれないと言われたが、他に選択肢がないから合格するように猛勉強した。倍率が高く自信もなく、人生で初めて弱気になった。その時にも私を救ってくれたのは、FICECの先生達だった。いつも「君ならできるよ！」「私達はジョージ君の応援隊だよ！」と笑顔で接してくれた。試験の手ごたえがなく無理だなと思ったが、発表ではなんと私の番号があった。努力は必ず報われると改めて感じた。周りの人達、友達、家族、先生達そしてFICECのスタッフのおかげだと思う。自分が弱音を吐きそうな時に、笑顔で応援をしてくれたことは私の力になった。

苦勞の多い学校生活だったが、その苦勞に感謝している。頑張る事の大切さ、周りの人の大切さ、自分を信じる事の大切さについて学んだ。支えてくれた人達への感謝を忘れずに人生を前向きに生きたいと思う。笑顔を武器に、自分の目標を実現するためこれからも頑張りたい。



番外編

「誰でも参加OK! ボツワナの結婚式事情」

神田 歩

ドゥメラディツァーラ!(みなさん、こんにちは)
スタッフの神田歩です。

今回は私が2年間、青年海外協力隊として生活した
アフリカ大陸に位置するボツワナ共和国の面白い
文化についてご紹介したいと思います。

突然ですが、みなさんは「結婚式」に何回くらい参
加したことがありますか?

ボツワナでは「誰も」が「手ぶら」で結婚式に参加
するのが当たり前! ということで、毎週末のように結
婚式に参加してもらい、今では「結婚式参列者のプ
ロ」になった私が今回、みなさんに紹介するのはボツ
ワナの「結婚事情」についてです。

ブライドプライス

まず男女が「結婚」をするためには新郎が新婦の親
族に対して「ボカーディ」と呼ばれるブライドプライ
スとして牛8頭(またはそれに準ずる金銭)を渡すこ
とが、南部アフリカでは伝統として今も残っていま
す。また結婚式は新郎の出身地、新婦の出身地の2箇
所で挙げるため、その費用の支払いをする男性側には
相当な出費があります。そのためか、結婚をしてい
ないカップルやシングルマザーは結婚をしている
カップルよりも遥かに多く、結婚はステータスシン



セスワ:牛肉を何時間も煮込み、その後はひたすら棒で叩
いて塩で味を付けたシンプルな料理。結婚式や葬式とい
った場面で参列者に振舞われることが多い。

ボルのように考えられているようです。また「結婚」
は男女ともに、することによって晴れて「一人前」と
みなされ、地域での会議で発言権が与えられたり、呼
び名が変わったりと、より尊敬されるべき存在にな
ると言われます。



友人の結婚式の写真。写真ではわかりづらいがボツワナ
国旗である青、黒、白を基調とした会場設定であるこ
が多い。

結婚式

そんな大変お金のかかるボツワナ式結婚ですが、
披露宴は相当お金をかけて派手に振舞うのがボツ
ワナ式。屋外に大きなテントを張り、DJがダンス
ミュージックを大音量で流し、新郎新婦と、その友
達から編成されるブライドメイツが練習を重ねた
ダンスを踊りながら会場に入場。親族紹介や村長の
話の後にセスワという牛肉料理をみんなで頂くの
がお決まりのパターンです。日本とは異なり、誰
でも参加OK! アフリカンドレスに身を包んだ女性も
多くいますが、カジュアルスタイルの人も多く、み
んな、そこで振舞われる食事やダンスを楽しみに、
参列します。



—ふじみの国際交流センターのサポーターになってください—

郵便局の口座から自動引き落とし方式で毎月寄付してくださる支援者を「マンスリーサポーター」と呼ばせていただき、ご登録をお願いしております。

一人でも多くの支援者が集まり、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。

在住外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語指導が絶対必要と思う方、在留外国人の犯罪を防ぐための支援が必要と考えている方、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなって活動を支援してくださることを期待しております。

マンスリーサポートの流れ

①支援しても良いと思っただき方、ふじみの国際交流センターにご連絡いただければ幸いです。

電話:049-256-4290、049-269-6450 FAX:049-256-4291

メールアドレス:npo-ficec@ficec.jp

住所:〒356-0004 ふじみ野市上福岡5-4-25

FICECマンスリーサポーターに申し込みます

1. ご登録情報

お名前 ご住所 電話番号 メールアドレス

2. ご寄付の金額

毎月2,000円・毎月3,000円・毎月4,000円・毎月10,000円・毎月(円)

②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。おとところ・お名前・ゆうちょ銀行の記号番号をご記入の上、返信用封筒に入れてふじみの国際交流センターに返送してください。

③毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

スポットサポーター募集*

*一般の寄付。

☆銀行振込の場合

金融機関名 埼玉りそな銀行 上福岡市店

種類・番号 普通預金 3782894

口座名 (特非)ふじみの国際交流センター

カタカナ名義 (トクヒ)フジミノ コクサイコウリュウ センター

☆郵便振替の場合

記号・番号 00110-0-369511

口座名 (特活)ふじみの国際交流センター

☆現金書留の場合 住所 〒356-0004 ふじみ野市上福岡5-4-25

宛名 ふじみの国際交流センター

尚、認定NPO法人である「ふじみの国際交流センター」への寄付金は住民税・所得税・法人税の優遇措置が適用され、税金が減税できます。

確定申告に必要な領収証明書は、毎年1回1月下旬までにご郵送させていただきます(領収書のご名義はご登録名で発行致します)。

ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「思えば長く続いたものだ」

岩田 仁

「思えば遠くに来たもんだ」、Information Fujimino(インフォ)を手取るたびに武田鉄矢(海援隊)さんの歌が甦ります。

「思えば長く続いたものだ」そうなんです、インフォはFICECが産声を上げると同時に誕生した第1子がなんですから。

外国籍市民(FICECでは外国籍の人々を、私たちと同じ市民と言う位置づけで、あえてこの言葉を使っていました)にも日本人同様の生活情報を!

生みの親である現理事長の掛け声で生まれたインフォは、その編集信念を曲げることなく二十数年にもなる発行長寿を誇り続けています。

思えば初号のパイロット版編集のおり、二人のベルシャ人が翻訳内容について激論を戦わしていたあの情熱、そして手書きの文章を目を細めながら切り張りして作った誌面など、二十数年の記憶がすぐ鮮明に浮き上がってきます。

そして237号、他に類を見ない表紙のデザインを描き続けてくれるデザイナーと7カ国語(一時は9カ国語)を一手に引き受け読み易い誌面を描き出すPCの練達が揃い現在があります。

翻訳者も多彩です。アメリカ在住のスペイン語担当、ブラジルから帰国したポルトガル語担当、日本永住の韓国語、タガログ語担当の方々、初号からの心の友、信頼する仲間です。

時代は大きく変貌しAIの時代です。言葉が図式化し人心を伝えにくい時代のような今こそ、本書を手にし、外国人の皆さんがインフォ誌面に盛り込まれた活字の温かさ、読者に寄せるFICECの心、理念をくみ取っていただけることを願い、私たちは常に皆さまのそばに寄り添いたいと考えております。

そう、ただ一つの心残り、それは毎号当面する編集費用の工面です。これがうまく解決できれば9カ国語、10カ国語の誌面構成もできるのに!!



見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ 石井ナナエ

○月○日

人権講座の依頼を受けてJ駅で降りた。次の駅からは群馬県。埼玉県最北部にある。プラットホームに七福神が祭られていた。年に30数回講師で出かけるが、七福神に出会ったのは始めて。知恵の神様、財宝の神様、招徳人望の神様などがずらっと並んでいる。運良く周囲に人はいない。「お願いしなければ」チャリン。お賽銭を投げて頭を下げた。「センターの赤字解消のめどが付きますように」「来年も自分の足で歩いて仕事に行けますように」「孫が高校入試に受かりますように」「旅行中の娘が無事に帰ってこられますように」それから・・・それから・・・お賽銭100円では少なかったかしら。

○月○日

政府は、2019年4月から外国人労働者を34万5千人、外国人観光客を4,000万人受け入れる予定で、「出入国在留管理庁」を設置し、人手不足が激しい介

護・外食・宿泊・農業・漁業・建設など14業種を増加し、外国人労働者の受け入れを可能にした。

埼玉県には現在160カ国、16万人超の外国人が暮らしている。これは県人口の2.2%にあたり、毎年1400人以上が増え続けている。オリンピックを控え外国人はますます増えるだろう。

生活相談の内容も離婚・子どもの学習・日本語の習得・病院への同行依頼に加え、会社側からの相談が増えた。「日本人を募集しているのだが応募者がいない、外国人を紹介してもらえないか」

「ヘルパーが不足している。外国籍人材募集セミナーを共同で開催してもらえないか」

「新入管法に則って雇用契約書を作ってもらえないか。翻訳も頼みたい」など。

実際に単純労働者が入国すれば、雇われる側の労働者と受け入れ企業とのトラブルも多く発生するだろう。その間に立って支援する「登録支援機関」になりたいのだが、力不足の自分が情けない。



1/17 書き初め

日本語教室で、学習のあと毎年お正月明けに行われる書き初め大会をしました。そのあと、みんなで甘酒を飲みました。



4/18 食事会しました



いつも日本語教室のボランティアをしている仲間で、カレーを食べに行きました。13人参加しました。

同行通訳ボランティア募集中

ふじみの国際交流センターでは、下記のように通訳ボランティアを募集しています。

関心のある方の連絡をお待ちしております。

募集言語: ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、
タガログ語、フランス語、中国語、
ネパール語、英語

通訳内容: 東武東上線内の学校、病院、役所などでの
通訳支援

☆日本語ができる外国人の方・外国語が流暢な日本
の方お待ちしております。

☆連絡先: TEL049-256-4290(10:00~16:00)

広告



Organic & Natural foods store

おいしいはしあわせ

サン・スマイル

創業22年

オーガニックや無肥料栽培野菜、お米、雑貨、
衣料品、コスメ、書籍など2500種類以上の商品
と、元気いっぱいの笑顔でお待ちしております！

●営業時間 10:00-19:00

●定休日 日曜日(祝日営業)

●住所 埼玉県ふじみ野市苗間1-15-27
(ふじみ野駅西口から徒歩7分)

●電話 049-264-1903



○お店の広告を出しませんか？詳しくはFICECまでお問い合わせ下さい。

FICECの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

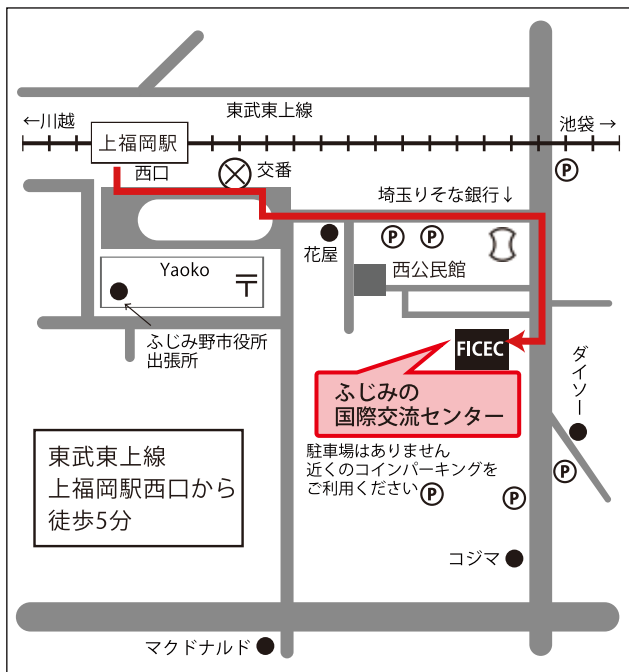
郵便振替口座：00110-0-369511
口座名：ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々 ご支援ありがとうございます

●2018年4月1日～2019年4月10日(敬称略)

〈団体〉一食推進委員会、邱亜蘭、社会貢献支援財団、立麻医院、東入間地区遊技業防犯協力会、田村工務店、(株)吉岡

〈個人〉秋本ノエミ、穴沢エミリン、安部幸枝、新井順子、新井洋子、新井良司、荒田光男、安銀柱、安婷婷、石井ナナエ、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、岩田仁、上島直美、遠藤慧子、尾浦邦彦、大澤エミリ、大澤さよ、大室昭浩、小熊千寿子、尾崎功、片倉ミン、加藤久美子、加藤由里子、金沢国勝、狩野照乃、川口久子、神田順子、木村不二雄、樟山直美、熊谷洋興、木場ひろみ、小林暁美、小林久美、駒形一夫、権田貴久子、酒井有香、佐竹裕子、佐藤裕悦、佐藤義治、塩野芳雄、芝山喜己子、江科、島田敏郎、島田道子、進洸子、高木志津子、高橋真梨子、高橋陸代、武田和子、立原悟、田中つや子、近澤エルザ、坪田幹男、鄭玄淑、寺村璧如、戸塚咸子、富田恵子、豊枝洋子、内藤忍、中川令子、中嶋恵津子、仲野谷美恵、中村禎作、長澤和夫、榎府憲太、南部英司、西川力藏、沼田伊久俊、野沢弘子、長谷川雅恵、長谷川正江、林田信幸、半田栄子、深田四郎、福吉真邦、保坂佐紀恵、星野秋梅、松井和子、松下敏恵、三宅万里子、水井ロウビミン、村山光代、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、八重樫紀久枝、矢澤美紀、柳ザヒ、山口勇、山口満江、山崎友理、山畑博子、吉井ジュリエッタ、レスティツ、劉海燕

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内

外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費	内容・予算に応じて相談
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)	
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)	内容・予算に応じて相談
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等		
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作		
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ	
	その他文書	A4 3,000円/ページ	
通訳	半日5,000円+交通費		
見学・研修(資料代として)	1,000円/人、日		

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、生活相談・外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。